

◇ 那須烏山市総合計画・基本構想（案）に対する宇大アドバイザーからのアドバイス

| 項 目 | アドバイス内容（理由） | 事務局の考え | 反映の方向性 |
|---|--|--|--------|
| 基本構想（案） III まちづくり目標 V 「ひかり輝くまちづくり」 ための重点戦略 ● 図：施策の大綱等の体系（P22） ● 重点戦略5（P28） | 『 <u>改革の進むまち戦略</u> 』⇒『 <u>改革を進めるまち戦略</u> 』 ● 「進む」では、流れに身を任す傾向に捉えられがちで、将来に向けての意志（率先して行なうという。）が感じとれないので、“自力”を強調した表現にすべきではないか。 | ※「進む」とは、決して控え目での表現ではなく、改革そのものが合併前からの継続的位置付けで、現在も進行中であるという形で捉えていることを鑑みての表現としている。 | |
| 基本構想（案） III まちづくり目標 V 「ひかり輝くまちづくり」 ための重点戦略 ● 図：施策の大綱等の体系（P22） ● 重点戦略5（P28） | 『“戦略”の表現を差し控えるべき』 ● 戦略は敵があって使う言葉であり、計画または構想等の言葉に置き換えてはどうか。その後も戦略は使用しない方がよいのではないか。現在一般的に使用されているが、競争社会での企業などで使用するとしても、自治体等で競争相手があるのではないために使用することは控えるべきであろう。 | ※地方分権改革の中、行政も“運営”から“経営”への視点で切磋琢磨しつつ、近隣市町よりも秀でた施策を表現する意味合いを有し、併せもって、行政間での課税客体獲得競争を見据え、本市の特色を内外に対し、意図的にアピールする側面を含むものとする。 | |